

---

# 僕の天使

護

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕の天使

### 【Nコード】

N6436B

### 【作者名】

護

### 【あらすじ】

史上最強の魔術師で現在天界、人間界、魔界で指名手配中の父をもつ青年ウールは素性を隠しながら何でも屋に勤めていた。ウールは今日も依頼をこなしていくはずが！？

## プロローグ

母さんは笑っていた。

世界中、いや、異界のもの達にまで憎悪の目でみられても

”しょうがないわね”

そおいつて微笑むんだ。

僕は母さんみたいに笑えない。

僕と母さんをこんな目に合わせたあいつを許せない。

僕と母さんを裏切った

父さんを。

## 第1話：依頼

いつもと変わらないはずの日常。だけど青年ウールは何が悪い予感がした。そして、大抵この予感は当たってしまうのだ。

ウールは何でも屋”クラッシャー”（不吉な店名だが店長や他の従業員を考えるとこれほど合っている名前はない）の従業員だ。今日も店の上にある住居区から一番早く店に降りてきて掃除や依頼の確認などをしていた。（住居区に住んでいるのはウールと店長とその娘メアリーだけだ。他の従業員は自分の家がある。）  
そして、店長や他の従業員がくるのを待つだけのいつもと変わらないはずだった。

まだ開店時間には早い時間の今、店の扉を開ける者、ましてや破壊する者などいないはずだった。

静かな朝の街に爆発音が響きわたった。

「ななななんだっ!？」

突然店の扉を破壊され、ウールは完全にパニックになってしまった。

「依頼をしたいんですけど」

たぶん扉を破壊した張本人であろう、小柄な体躯に全身マントに身をつつみ声でかろうじて少女としかわからない不審人物が、瓦礫となった扉をこえて話しかけてきた。

「依頼…ですか？」

ウールはまだパニックしたままの頭で一つの考えが回っていた。

何故扉を破壊した？

「そう。依頼をしたいの。早くしてよ」

不審人物の少女は反応の鈍いウールにじれたように言った。

なんとかパニックが収まりつつあるウールは、爆発の時に尻餅をついたままの状態に気づき起き上がった。

「ちょっと待ってください。依頼とかその前になんでウチの扉を」

「なんだ今の音は？」

ウールの言葉を遮るようにして店長が上から降りてきた。

「あれまゝ。見事にドアが破壊されてんな。ところでそちらさんは？」

自分の店の扉が壊されたというのにあまりにも反応が薄い。  
いや、ウールの反応が大きすぎるのだ。

何でも屋「クラッシャー」は文字通りなんでもする。

それこそ犯罪紛いのことも。

いろんな依頼が舞い込む。

そんな依頼を扱っているのだから扉の一つや二つ破壊されたって驚きはしない。ウールだってこの店に勤めて十年、そおいったことに耐性はあるのだが突発的事項に弱い。あらかじめ知っていたらそれこそ、扉の一つや二つ気にしない。ドラゴンが攻めてきたって冷静でいるだろう。あらかじめ知っていたらの話だが。

少女は改めて店長に言った。

「依頼をしにきたのよ」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6436b/>

---

僕の天使

2010年10月20日18時13分発行